

番号	29-01	研究課題	磁界解析を用いたモータの高性能化に関する研究			
評価項目	評価点 5	評価点 4	評価点 3	評価点 2	評価点 1	
1 必要性	4	1	1			
2 有効性	4	2				
3 効率性・妥当性	2	4				
4 総合評価	5	1				
<p><主な助言・指摘事項等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究を進めるに当たり、外部での研究開発の状況を把握するとともに、各種研究機関との共同研究や外部研究者による研究のアドバイスを積極的に利用し、最先端の研究開発を行ってほしい。 ・「これまでの成果は何か、それをどう活かすのか？」よく理解することができた。重要なテーマであり、大いに期待したい。 ・現在のエンジンはピストン運動を回転運動に変換し、これをギアやベルトによりタイヤに伝えている。現在広がりつつある電気自動車では、回転部分を汎用モータに置き換えようとするもので、ガソリンエンジンの経験をそのまま生かせることの利点は多いが、電磁力を自動車に利用する最適な方法とは言えない。今回の提案は、新方式のインホイールモーターを自動車に最適化するために電磁界解析を適用しようとするもので、先行大手メーカーと同じスタートラインから始められる。 ・本研究課題は今やグローバルな課題であるだけに、地方の岡山で取り組むべき課題であるのかどうか疑問に思う。しかし、目標を達成できたとしたら、その波及効果はこれまた想像を絶するものがある。それだけに、不可能に挑戦する勇気をもって取り組んでいただきたい。 ・世界が電気自動車に向かっている中のコア技術開発で有意義である。 ・地場産業の代表格である自動車産業のビジネスチャンス拡大の可能性が十分期待できる事案であり、優先的に実施することが適当。 						

評価点数：5 優先的に実施することが適当 4 実施することが適当 3 計画等を改善して実施することが適当 2 実施の必要性が低い 1 計画等を見直して再評価を受けることが必要

番号	29-02	研究課題	粒子材料の高機能化・高精密化に関する研究開発				
評価項目			評価点5	評価点4	評価点3	評価点2	評価点1
1	目標達成度		2	4			
2	有効性		4	2			
		当初目的以外の成果	2	4			
3	効率性・妥当性	費用対効果	3	3			
		手法等	3	3			
4	成果の活用・発展性		3	3			
5	総合評価		3	3			
<p><主な助言・指摘事項等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・導電性インクを実用化した点は、とても評価できる。石灰材料の成分分析について、機器計測に基づく標準規格化を行った点は、地方公設試としての地元企業に対する研究成果として、特に対外的にアピールすべき事例と考えられる。 ・導電性粒子の合成法と石灰材料成分の評価法のトータルな発展を期待したい。 ・石灰材料成分の蛍光X線分析の手法をデファクトスタンダードとすべく情報発信してほしい。 ・導電性粒子の合成技術に関する成果は、広く大きく展開できる要素をもつ。但し、県内企業がこの成果を享受出来るか疑問に思える。 ・ナノ粒子を扱う上で困難な部分をクリアーし、品質管理まで達成出来ている。まさに素晴らしい。 ・更なる技術移転を期待する。 							

評価点数： 5 著しい成果が得られた 4 十分な成果が得られた 3 一定の成果が得られた
 2 見込んだ成果を下回った 1 成果が得られなかった

番号	29-03	研究課題	固体発酵技術の高度化と応用展開に関する研究開発			
評価項目		評価点5	評価点4	評価点3	評価点2	評価点1
1	目標達成度	2	3	1		
2	有効性	3	3			
	当初目的以外の成果	3	3			
3	効率性・妥当性	3	3			
	費用対効果	3	3			
	手法等	2	3	1		
4	成果の活用・発展性	3	3			
5	総合評価	2	4			
<p><主な助言・指摘事項等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究開発した手法を用いた、ハゼ状態に関する検査システムの構築、データ解析による製麹状態の評価手法等、さらなる発展的な研究開発を行って、実用化例を提示してほしい。 ・現場での取り組み（現地指導48件、講演依頼等）を評価したい。今後の実用化に期待したい。 ・白色面積比と酵素濃度を結び付ければ、製麹過程を真に定量化できるのではないか。 ・県下の清酒業者にとっては極めて福音とも思える研究開発ではないか。この技術を利用して、品質の安定や新しい日本酒造りが可能となろう。県下の清酒業者が、それぞれより特徴のある清酒造りに取り組めるようになることを期待する。 ・日本発酵産業の華である清酒の中核である麹造りの品質管理に大きく貢献でき、実用化も出来た。現場で使えるまで仕上げた点がすばらしい。 ・岡山県産の酒のブランド化に繋げてほしい。 						

評価点数： 5 著しい成果が得られた 4 十分な成果が得られた 3 一定の成果が得られた
 2 見込んだ成果を下回った 1 成果が得られなかった

番号	29-04	研究課題	複合化技術を用いた高分子材料の開発			
評価項目		評価点5	評価点4	評価点3	評価点2	評価点1
1	目標達成度	4	1	1		
2	有効性	4	2			
	当初目的以外の成果	3	3			
3	効率性・妥当性	2	4			
	費用対効果	2	4			
	手法等	2	3	1		
4	成果の活用・発展性	5	1			
5	総合評価	4	2			
<p><主な助言・指摘事項等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックのリサイクル材料、高分子/フィラー複合材料、ポリエチレンの大型形成等、多種に渡って実用化まで研究開発を進めた点を高く評価する。学会発表、共同研究数、学会での受賞は、研究の質の高さを示していると考えられる。 ・実用化・学術面ともに高く評価したい。製品化を大いに期待する。 ・多くの技術移転がなされていることを評価する。個別案件対応のみでなく全体を統括できる学理に結び付けてほしい。 ・多く排出される高分子化合物のリサイクルをしようとすれば、必然的に異種の高分子材料を複合化する技術の確立が必要である。高分子材料であれば広く再利用できるように、この研究を突き進めて欲しい。 ・資源としてのプラスチックリサイクルを視野に、複合化のための重要基礎技術で既に多く応用も進められている。 ・本事案は多方面に派生・波及する可能性が極めて高く、有用な案件であった。 						

評価点数： 5 著しい成果が得られた 4 十分な成果が得られた 3 一定の成果が得られた

2 見込んだ成果を下回った 1 成果が得られなかった